

須田dy 5年生 すたでい

須田の米作りから学ぼう

「地域」を知るために身に付ける力 … おきかえる つなげる

5年生の社会科の学習では、私たちの暮らしを支える産業について学習します。3年生では「食生活を支える人」に視点があるのに比べ、「人から仕事へ」と視野を広げていきます。須田小5年生は、「須田の米作り」から食生活を見つめ直す学習をしてきました。

わかっているようでわからない米作り

米作りをしているようで知らないことがたくさんあることがはっきりとしました。

そこで、須田小校区にお住まいの間さんが代表をされている「ロータス北湯」の皆さんやJA南蒲の皆さんから指導を受けながら米作りを行うこと。



田植えの仕方を学ぶ

2学期…情報と「情報」を「つなげる」

5月10日(金)晴天。ほとんど田植え体験の子もたちは、素足で田んぼに入ることや田んぼの中を歩くことにも一苦労。



田植え体験

目印に合わせ植えるだけなのに…。その後、実際に機械植えも見学しました。

須田米から学んだ「収穫」 … 学びをつなぐ

4つの学習テーマで調べたことも「収穫」!

11月15日(金)、お世話になった間さん、保護者を招いての収穫祭で発表しました。収穫米を使った「おむすび」を、お汁と一緒に召し上がっていただきました。4つのテーマ(『お米の一年間』『米の品種』『お米の始まり』『米作りの進化』)で学習発表をしました。間さんからとてもよく調べていて素晴らしいと、お褒めの言葉をいただきました。

収穫感謝と学習発表



「一粒の米」の大切さ つなげる

9月13日(金)晴天。田植えの時と同様に指導を受け稲刈り体験をしました。手作業での腰の痛みと機械化の利便性は、田植え体験と重なります。さらに、一粒の米から始まった米作りは、最後の一粒の米まで大切に「落ち穂拾い」に続きます。食生活を支える日本農業の特色につながります。



稲刈り体験

カレンダーで「須田米」発信! … 伝える

最後に、一年間、米作りを通して教えていただいたり、調べたりして学んできたことをもとに、ふるさと須田の米作りのカレンダーを作っていきます。

日本の農業の特色を、須田の米づくりから伝える活動へとつなげていきます。



お米お先生 間さんと集合写真

【須田dy (ふるさと・須田学習)】

米作りこよみ

5年生「須田の米作りから学ぼう」



2019/5/1 田植え体験



2019/6/15 稲の観察



2019/9/13 稲刈り体験



2019/11/15 感謝祭

須田の米作りカレンダー

【他品種】消費者の好みに合わせた好め品種を作っている

【水管理】田んぼの水の高さ(量)で、成長を細かく管理している

【作業時期のずれ】品種によって作業時期がずれている(農家の人たちの作業が集中しない)

【農業に頼らない】水の管理で、雑草が増えることを防いでいる



SUDA

須田小5年生は、「須田の米作り」から食生活を見つめ直す学習をしてきました。須田地域にある田んぼで、お米の先生からの指導をうけながら体験活動をしたり、自分たちでテーマ(『お米の一年間』『米の品種』『お米の始まり』『米作りの進化』)を決め調べたりしながら集めた多くの情報をつなぎ、食生活を支える日本農業の姿について学習してきたことを、「米作りこよみ」にまとめました。

2019/11/15 感謝祭(学習発表会) 間さん(田んぼの先生)と保護者を囲んで

